

茨城県
自衛隊家族会

会報

第5号
2026年4月1日
発行者
正代 初代

令和七年度後期

会長挨拶

茨城県自衛隊家族会
会長 正代 初代



令和八年度となりました。桜の花の咲く時期も近年ますます早くなりましたが会員の皆様には「健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、会報第五号では令和七年度後期の県自衛隊家族会の活動実績を主体に掲載いたしました。この間の事業活動にご参加・ご協力いただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げますとともに令和八年度におきま

てもご支援・ご協力をお願い申し上げます。特に、自衛隊では益々厳しい募集環境となっております。

前期では昨年度と同様に「広報・募集活動への協力」を重点に事業活動を推進して参ります。この際、電子メールやホームページにより茨城地本のイベント情報をご連絡いたしますので、会員皆様のご協力を頂ければ幸いです。

（茨城県自衛隊家族会のホームページは下図のQRコードから訪問できます。）



○十月四日（金）勝田駐屯地、

殉職隊員追悼式に多数の県下 家族会会長が参加

県自衛隊家族会からは、正代県会長をはじめ、町島水戸市会長、石井城里町会長、大川茨城町会長、木間塚かすみがうら市会長、大足筑西市会長、小野瀬那珂市会長、星田つくば市会長、吉成常陸太田市会長、船橋龍ヶ崎市長、小針日立市会長が参列されました。また、ご同伴と

して、水戸市から吉沢会員、日立太田市から吉成様、龍ヶ崎市から酒井会員にもご参加いただきました。



追悼行事は、追悼式、写真撮影、会食の順で実施され、殉職隊員の幼いご子弟とともに献花・拝礼されるご遺族の様子に胸が痛みました。

会食では、正代県会長が献杯のご指名を受け、殉職隊員のご家族と心を共に献杯をささげ、厳粛な追悼行事となりました。



○十月八日（水）武器学校観 月会に県家族会から五名が参 加

県家族会からは正代県会長、星田つくば市会長、紙井阿見町会員、林阿見町会員、正代県事務局長が参加致しました。観月会は午後六時に始まり、主催者の武器学校後援会長の中川様の開始の挨拶、佐藤字校長のお礼の挨拶、引き続き武器学校の上級幹部の方々と懇親会が行われ、武器学校の現況や今年度末に新編される後方支援学校等への変化等について和やかに会話（情報交換）を楽しみました。午後七時三十分には、土浦駐屯地の霞ヶ浦湖畔に移動し、参加者全員で満月の月を眺め、ひと時の幻想の世界を楽しみました。最後には記念写真を撮り、名残を惜しみつつ解散となりました。



○十月十四日（火）西方総監 島海様を県会長が表敬訪問し、 和やかに懇談

九州熊本を訪れる機会があり、熊本県家族会の光永会長を介して西部方面総監の島海様に表敬訪問をお願いしましたところ、快くお受け頂きました。



島海様には今年の県自衛隊家族会の総会（懇親会）に第一師団長としてご出席され、ご祝辞をいただいております。お礼の挨拶を行うことができました。



○十月二十三日(木) 古河駐屯地司令を表敬訪問
 正代県家族会会長が弥頭古河駐屯地司令を表敬訪問いたしました。目的は、各種イベントの機会に合わせた訪問ではなく、表敬訪問を直接の目的として司令にお会いし、県下の自衛隊及び自衛隊員を支援する県自衛隊家族会会長としての想いと会活動の現況をご説明し、ご理解をいただくことにありました。



○十一月三日(月) 海自横須賀地方隊の記念行事に参加
 海上自衛隊横須賀地方隊のご招待により、正代県自衛隊家族会会長が自衛隊記念行事に参加いたしました。会場には中條伸奈川県会長及び小野山梨県会長が参加されており、栗秋茨城地本長とともに和やかに懇談することができました。



○令和七年十一月十六日(日)、かずみがうら市「ふれあい生涯学習フェア」参加の茨城地本を家族会員が支援
 かずみがうら市で実施された「ふれあい生涯学習フェア」に茨城地本の「にやつとらーず」が出演され、これを県家族会から五名の会員の皆さん(かずみがうら市家族会から木間塚会長、石岡市家族会から中嶋会員、夫妻、つくば市家族会から大森会員、阿見町家族会から関根会員がラップ、クイズの正解者に景品を渡す等のお手伝い(支援)を行いました。



○十一月十八日(火)(公社) 隊友会主催の令和七年度「中央防衛セミナー」に県家族会会長が参加
 市ヶ谷コンフレンスセンターで実施された、(公社) 隊友会主催の令和七年度中央防衛セミナー(第五十二回)に正代県家族会会長(事務局長同伴)が参加いたしました。この際、国家基本問題研究所 理事長 桜井よしこ氏が基調講演として演題

「日本が果たすべき役割」について講演され、その後、パネラーとして元陸上幕僚長 岩田清文氏 及び 明治大学政治経済学部 教授 飯田泰之氏、また、モデレーターとして産経新聞東京編集局編集長 田北真樹子氏が参加され、現在の日中関係を中心にセミナーが実施されました。



○十一月二十二日(土) 勝田駐屯地・施設学校開設七十四周年記念行事に県自衛隊家族会が参加
 勝田駐屯地において「勝田駐屯地・施設学校開設七十四周年記念行事」が行われ、県自衛隊家族会から多数の会員(十二名)が参加いたしました。



○十二月一日(月) 北方領土返還要求中央アピール行進に参加
 北方領土返還要求中央アピール行進に県家族会から六名(正代県会長、木間塚かずみがうら市会長、酒井龍ヶ崎市副会長、大森つくば市監事、関根阿見町理事、正代県事務局長)が参加いたしました。



○十二月六・七日、百里基地航空祭に多数の県家族会員が参加
 百里基地航空祭が開催され、県自衛隊家族会からも約二百名の会員が参加し、航空ショーを満喫いたしました。



○十二月十日(水) 土浦駐屯地でのヘリ体験搭乗に県家族会から八名が参加
 土浦駐屯地にてヘリ体験搭乗が実施されました。県家族会から八名の会員及びご家族が参加されました。季節がら寒い日となりましたが、空は快晴に恵まれ爽やかな遊覧飛行を楽しむことができました。



○十二月十一日・十二日、群馬県自衛隊家族会を研修・意見交換

県家族会正代会長ほか十二名の会員が群馬県を訪れ、同県家族会との意見交換を実施しました。その目的は本年、群馬県家族会が（公社）自衛隊家族会会長より「自衛隊の募集活動への協力」の功績を評価され、表彰されたご活躍の内容について情報収集し、我が県家族会の事業活動の資とするものでした。



よう心からお祈りいたします。



令和7年度駐屯地二十歳の集い
勝田駐屯地 令和8年1月15日

○一月十六日、令和7年度土浦駐屯地二十歳の集い

土浦駐屯地二十歳の集いが執り行われ、正代県家族会会長が招待され、祝辞を述べました。本年は、二十歳の集いの対象者は六名、多くの隊員の皆様に祝福されながら記念撮影及び記念会食が実施され、



○一月十五日、令和七年度勝田駐屯地二十歳の集い

勝田駐屯地二十歳の集いが執り行われ、正代県家族会会長が招待され、祝辞を述べました。本年は、二十歳の集いの対象者は五名、多くの隊員の皆様に祝福されながら記念撮影及び記念会食が実施され、各々抱負を述べられました。

この五名の皆さんのこれからの人生が「良い出会いに恵まれ、幸せに満ちた日々」であります

各々抱負を述べられました。この六名の皆さんのこれからの人生が「良い出会いに恵まれ、幸せに満ちた日々」であります。よう心からお祈りいたします。



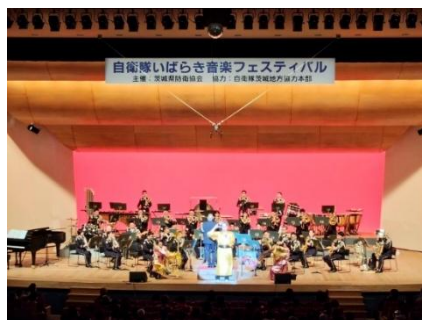
○一月十六日（金）、百里基地新春賀詞交歓会

百里基地新春賀詞交歓会が執り行われ、正代県家族会会長が招待され、多くのご参加の皆様と共に新春を祝いました。



○一月十八日（日）、自衛隊いばらき音楽フェスティバル

茨城県防衛協会主催（自衛隊茨城地方協力本部協力）による「自衛隊いばらき音楽フェスティバル」が開催されました。県家族会からは、正代会長以下約三十名の会員の皆さんが参加し、第一師団音楽隊の演奏を満喫いたしました。



○二月二日（月）武器教導隊の
中隊対抗持続走競技会を激励

武器教導隊のご招待による中隊対抗持続走競技会を視察・激励して参りました。参加者は、正代県家族会長（兼阿見町家族会長）、かすみがうら市から木間塚会長、龍ヶ崎市から酒井副会長、つくば市から大森監事、阿見町から高橋県監事、石岡市から中嶋会員、阿見町から豊島会員、水戸市から川崎会員、正代県事務局長の計九名が参加いたしました。



○二月七日（土）北方領土返還
要求全国大会に県会長以下五名
が参加

北方領土返還要求全国大会が国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟ホールにて実施され、県家族会から五名（正代県会長、酒井龍ヶ崎市副会長、大森つくば市監事、関根阿見町理事、正代県事務局長）が参加いたしました。



○二月十一日（祝・水）施設学
校音楽隊第三十四回定期演奏会
を鑑賞・激励

ひたちなか市文化会館にて施設学校第三十四回定期演奏会が実施され、県自衛隊家族会から多くの会員が参加し、素晴らしい演奏会を鑑賞・激励いたしました。先ず、開場後間もない十三時三十分頃に音楽隊の控室にて正代県会長が松本音楽隊長に花束を贈呈し第三十四回定期演奏会の開催を祝福いたしました。



○二月十五日（日）筑西事務所
での入隊説明会を支援

茨城地本筑西地域事務所において入隊説明会が実施され、所長のご厚意により県家族会の入会説明会の場を設けていただきました。県家族会からはつくば市家族会大森監事及び阿見町家族会関根理事が代表して、入隊者のご家族の皆さんに対し入会説明を実施いたしました。今回が初めての説明担当とあって事前準備をしっかりと行い、ご家族に家族会の設立主旨、活動目的・入会メリット等について理解して頂き、立派な説明会となりました。また、正代県会長も現場に駆け付け、入会説明会後の質疑応答を支援し、連携宜しく即日入会するご家族もおられ、成果を得ることが出来ました。



○二月二十一日（土）武器学校
感謝の集い

武器学校の廃止に伴い、これまで武器学校の発展に携わった皆さん、ご支援・ご協力いただいた皆さん等に対する感謝の意を込めて、「武器学校感謝の集い」が開催されました。県自衛隊家族会からは正代県会長が招待され、参加いたしました。主要な招待者には自衛隊陸幕武器化学課長、歴代学校長、中川武校後援会長、六車武校OB会会長、長島県隊友会会長、近隣の市町村長等の方々が参加されておりました。



○二月二十一日(日) 東部方面
隊創立六十六周年記念行事

陸上自衛隊朝霞駐屯地にて東部方面隊創立六十六周年記念行事が開催され、県家族会から正代会長が招待され、参加致しました。会場には歴代方面総監、近隣の部隊長、自衛隊協力企業、近隣の区長等の方々のほか隣県の家族会長等が招待され、盛会に実施されました。本県からは各駐屯地司令・栗秋地本長等が参加されておりました。

○二月二十七日令和七年度県自衛隊家族会「理事会」を開催

茨城地方協力本部の会議室において、令和七年度茨城県自衛隊家族会の「理事会」を開催いたしました。参加者は、理事・監事の総数二十四名のうち十七名が出席し、会則第十六条の規定を満たしました。その後、水戸駅近傍に徒歩にて移動し、参加者二十二名(家族会十九名、地本三名)による懇親会を実施し、和やかに融和・団結を図りました。



○三月八日(日) 茨城県家族会への入会説明を実施

ザヒロサワシティ会館にて「令和七年度自衛隊入隊・入校予定者激励会」が茨城県防衛協会の主催により下記の時程で実施されました。協賛の県自衛隊家族会は同協会から時間を頂き「県家族会会長による入会説明」を実施しました。県家族会からは、正代会長長のほか、十六名の会員等(小針日立市会長、吉成常陸太田市会長、夫妻、石井城里町会長、夫妻、木間塚かずみがうら市会長、須藤県理事、吉沢水戸市副会長、矢崎水戸市副会長、酒井龍ヶ崎市副会長、大森つくば市監事、関根阿見町理事、櫻村日立市会員、中島石岡市会員、豊島阿見町会員、正代会務局長)が応援に駆け付けました。



○三月二十八日(土) 後方支援学校武器科部新編行事(観桜会食)に参加

土浦駐屯地にて昭和二十七年からこれまで武器職種のメッカとして親しまれてきた「武器学校」が廃止され、この度「後方支援学校武器科部」として新たに編成されました。この日は、教導隊の常陸陣太鼓で祝賀演奏を行い、次に武器科部の看板の除幕式、記念植樹、引き続き祝賀を兼ねた観桜会食が実施されました。県自衛隊家族会からは招待者枠十名をいただき、県会長ほか市会議員等他の肩書で参加された方を含め計約8名の会員が参加いたしました。植樹式では武器科部長等の植樹の後、ご厚意により県家族会会員も記念植樹を行う事が出来ました。観桜会会場には県家族



会用の特別テーブルが準備され、椅子席にて和やかに会話を楽しみながら美酒・美食を楽しみました。



○三月三十日(月)茨城地本土浦地域事務所のリニューアルオープン

茨城地本土浦地域事務所がリニューアルオープンし、栗秋自衛隊茨城地方協力本部長ほか主要な協力団体の代表者(正代県家族会長を含む)が参加され、厳粛かつ愉快なセレモニーとなりました。



編集者

県事務局長 正代藤倫

fujinorihatsuyoshodai@gmail.com

賛助会員 (法人)

ロイヤル化粧品株式会社

昭和金属工業株式会社

ホテルレイクビュー水戸

ホテルテラスガーデン水戸

株式会社リペイントワン

株式会社イーストワン

合資会社薄井電機製作所

賛助会員 (個人) 敬称略

正代 初代 正代 藤倫

木間塚 仙子 小針 靖晃

高橋 将 大森 幸代

関根 恵美 須藤 賢一

須藤 志保 松瀬 咲

吉沢 真紀子 酒井 あかね



ロゴ



会旗



茨城県自衛隊家族会
HP QRコード

自衛官であるときも (Active)

自衛官でないときも (Reserve)

自衛官でなくても (Support)

どこにいても日本を守っている。



茨城県自衛隊家族会のHPです。
QRを読み込んでみてください。



茨城地本キャラクター
陸にやっつら